相生学院 初V 男子

テニス・全国選抜高校大会最終日（25日・福岡博多の森テニス競技場＝読売新聞社など主催）――男女団体決勝が行われ、男子は相生学院（兵庫）、女子は秀明八千代（千葉）がともに初優勝を果たした。相生学院は、ダブルス二つと第2シングルスを奪い、3連覇を目指した湘南工大付（神奈川）に3―0で圧勝。秀明八千代は、シングルス三つを制して仁愛女（福井）に3―2で競り勝った。仁愛女は3年連続の準優勝。

【男子】▽団体決勝（3ポイント打ち切り）

相生学院（兵庫）3（単1―0、複2―0）0湘南工大付（神奈川）

○細池 川川 6―1、6―2 杉及川

○斉藤 6―1、6―2 高田川本

○諏訪 山川 6―1、6―4 高関橋谷

【女子】▽団体決勝（3ポイント打ち切り）

秀明八千代（千葉）3（単3―0、複0―2）2仁愛女（福井）

○小林 6―3、6―4 林

○岩井 6―2、6―0 大田

○森田 4―6、3―6 牧高橋田

○武松 0―6、1―6 本玄田

○鈴木 6―2、6―0 井黒田

○中山 6―1、6―1 酒井

■結束力で完勝　相生学院は、大会5試合で単複一つも落とさなかった。「夢実現」をテーマに3年前に開校した通信制高校。テニスに打ち込める環境にひかれ、有力選手が次々と入学した。だが、団体戦は勝てずに昨年の選抜、高校総体は8強止まり。心を一つにしようと、主将の池川が「そろいのグッズを身に着ければ」と100円ショップで買い求めた鉢巻きが、結束を強めた。全員が目の前の一球に集中しての頂点に、荒井監督は「夢の第一歩がかないました」と喜んだ。

仁愛女・吉田監督「（3年連続準優勝に）悔しいけど、よく頑張ってここまで来た」